

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

1. 化学品及び会社情報

製品名 : OPTIBENT-1248
用途 : レオロジー添加剤

供給者情報

供給者の会社名称 : ビックケミー・ジャパン株式会社
住所 : 東京都新宿区市谷本村町3-29
電子メールアドレス : info.byk.japan@altana.com
緊急連絡電話番号 : +81 3 4578 9341 (日本語と英語)
+65 3158 1074 (All languages)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性 (経口) : 区分 4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分 2A
発がん性 : 区分 1A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 3 (気道刺激性)

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H302 飲み込むと有害。
H315 皮膚刺激。
H319 強い眼刺激。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H350 発がんのおそれ。

注意書き :

安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

- P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P271 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
 P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:

- P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
 P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
 P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
 P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間 注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
 P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

保管:

- P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 P405 施錠して保管すること。

廃棄:

- P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非： 情報無し。
 常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
 化学名又は一般名： 変性 / 活性ベントナイト

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)
ベントナイト	-	>= 50 - < 60
リン酸ナトリウム	7722-88-5	>= 30 - < 40
石英 (結晶)	14808-60-7	>= 0.1 - < 1

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに吐かせ、医師に連絡する。
気道を確保する。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報無し。
医師に対する特別な注意事項 : 情報無し。
症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧
泡
粉末
二酸化炭素 (CO2)
二酸化炭素 (CO2)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 製品自体は燃焼しない。
- 有害燃焼副産物 : 炭素酸化物
硫黄酸化物
リンの酸化物
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
粉じんの発生を避ける。
粉じんを吸い込まないよう留意。

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 酸で中和する。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 粉じんの発生を避ける。粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

安全取扱注意事項

- : 吸入性粉じんが発生しないように留意する。
蒸気/粉じんを吸い込まない。
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
作業室の換気や排気を十分に行う。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

接触回避
衛生対策

- : 強酸
使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
ラベルの予防措置を遵守する。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
ベントナイト	-	OEL-M (吸入性粉じん)	0.5 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第 1 種粉塵				
		OEL-M (総粉じん)	2 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第 1 種粉塵				
石英 (結晶)	14808-60-7	OEL-C (吸入)	0.03 mg/m ³	日本産業衛生

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

	性粉じん)	(シリカ)	学会 (許容濃度)
	<p>詳細情報: 吸入性結晶質シリカおよび吸入性粉塵は以下の捕集率 R (dae) で捕集された粒子の質量濃度である。 $R (dae) = 0.5 [1 + \exp(-0.06dae)] [1 - F(x)]$ dae: 空気動力学の粒子径 (μm), $F(x)$: 標準正規変数の累積分布関数 $x = \ln(dae/\Gamma) / \ln(\Sigma)$, \ln 自然対数, $\Gamma = 4.25 \mu m$, $\Sigma = 1.5$, 発がん以外の健康影響を指標として許容濃度が示されている物質。 III. 発がん性分類の前文参照, 発がん物質, 「第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は, 疫学研究からの十分な証拠がある。</p>		
	TWA (呼吸性画分)	0.025 mg/m ³ (シリカ)	ACGIH

保護具

呼吸用保護具 : 粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。
総粉じんの濃度が 10 mg/m³ 以上の場所では防塵マスクが推奨される。

手の保護具

備考 : 適切な手袋を着用すること。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 微粒子不浸透性保護服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

保護対策 : 吸入性粉塵および吸入性結晶性シリカに対する職業暴露を監視し管理しなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 粉末
色 : オフホワイト
臭い : 無臭
臭いのしきい(閾)値 : 非該当

pH : 10.3 (23 °C)
含有量: 2 %
方法: measured

融点/ 範囲 : 非該当

沸点/沸騰範囲 : 非該当

引火点 : 非該当

蒸発速度 : 非該当

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

可燃性（固体、気体）	: 発火しない
爆発範囲の上限	: 非該当
爆発範囲の下限	: 非該当
蒸気圧	: 非該当
相対ガス密度	: 非該当
比重	: データなし
密度	: データなし
かさ密度	: 600 - 900 kg/m ³
溶解度	
水溶性	: 部分的に溶ける
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: データなし
発火温度	: 非該当
分解温度	: 非該当
粘度	
粘度(粘性率)	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: 強酸
危険有害な分解生成物	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

11. 有害性情報**急性毒性****製品:**

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

急性毒性（経口） : 急性毒性推定値: 1,667 mg/kg
方法: 計算による方法

成分:**ベントナイト:**

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 420

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 5.27 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 436

リン酸ナトリウム:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 300 - < 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 420
GLP: 該当

皮膚腐食性／刺激性**製品:**

備考: 皮膚を刺激することがある。
敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

成分:**ベントナイト:**

種: ウサギ
方法: OECD 試験ガイドライン 404
結果: 皮膚刺激なし
GLP: 該当

リン酸ナトリウム:

結果: 皮膚刺激なし

種: ウサギ
方法: OECD 試験ガイドライン 404
結果: 皮膚刺激なし
GLP: 該当

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**製品:**

種: Bovine corneal opacity and permeability assay (BCOP)
結果: 眼への刺激
方法: OECD 試験ガイドライン 437
GLP: 該当

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

備考: 強い眼刺激。

備考: 強い眼刺激。

成分:**ベントナイト:**

種: ウサギ

結果: 眼への刺激なし

方法: OECD 試験ガイドライン 405

GLP: 該当

リン酸ナトリウム:

結果: 強度の眼刺激

アセスメント: 眼に重傷のおそれ。

種: ウサギ

結果: 眼腐食性

方法: OECD 試験ガイドライン 405

GLP: 該当

呼吸器感作性又は皮膚感作性**製品:**

備考: データなし

成分:**ベントナイト:**

試験タイプ: Mouse Local Lymph Node assay (LLNA)

暴露の主経路: 経皮

種: マウス

方法: OECD 試験ガイドライン 429

結果: 皮膚を過敏化させない。

アセスメント:

No acute effects have been observed.

備考: Bentonite is exempted from REACH registration in accordance with Annex V.7. A hazard assessment has been conducted under the umbrella of the European Bentonite Association (EUBA) and the outcome was that bentonite is not a hazardous substances. Therefore, in absence of identified hazard, the substance is safe and presents no risk.

リン酸ナトリウム:

試験タイプ: Mouse Local Lymph Node assay (LLNA)

暴露の主経路: 皮膚接触

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

種: マウス
方法: OECD 試験ガイドライン 429
結果: 皮膚感作物質ではない
GLP: 該当

生殖細胞変異原性**成分:****ベントナイト:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性

: 試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陰性

: 試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陰性

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった
ント

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**成分:****ベントナイト:**

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)**成分:****ベントナイト:**

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

反復投与毒性**製品:**

備考: データなし

成分:**ベントナイト:**

備考: データなし

反復投与毒性 - アセスメント : No acute effects have been observed.

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

備考: Bentonite is exempted from REACH registration in accordance with Annex V.7. A hazard assessment has been conducted under the umbrella of the European Bentonite Association (EUBA) and the outcome was that bentonite is not a hazardous substances. Therefore, in absence of identified hazard, the substance is safe and presents no risk.

詳細情報**製品:**

備考: データなし

12. 環境影響情報**生態毒性****製品:**

魚毒性 : 備考: データなし

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : 備考: データなし**成分:****ベントナイト:**魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 16,000 mg/l
曝露時間: 96 hLC50 (海洋生物): 2,800 - 3,200 mg/l
曝露時間: 24 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202藻類に対する毒性 : EC50: > 100 mg/l
曝露時間: 72 h**環境毒性アセスメント**

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

リン酸ナトリウム:魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 半静止試験

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

方法: OECD 試験ガイドライン 203

GLP: 該当

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
GLP: 該当

藻類に対する毒性 : ErC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 該当

最大無影響濃度 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 該当

微生物毒性 : EC50 (活性汚泥): > 1,000 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 209
GLP:

残留性・分解性**製品:**

生分解性 : 備考: データなし

成分:**ベントナイト:**

生分解性 : 備考: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

生体蓄積性**製品:**

生体蓄積性 : 備考: データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響**製品:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質/混合物は 0.1%以上の濃度で難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質 (PBT) または極めて難分解性、高い生

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

体蓄積性を有する物質（vPvB）と懸念される物質を含有しておりません。

生態系に関する追加情報 : データなし

成分:**ベントナイト:**

PBT および vPvB の評価結果 : 当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。当物質は、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性(vPvB)であるとは見なされない。

生態系に関する追加情報 : 知見なし。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物を下水へ排出してはならない。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意**国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号
オキシビスホスホン酸四ナトリウム	111
シリカ	165-2

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
オキシビスホスホン酸四ナトリウム	111
シリカ	165-2

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

高圧ガス保安法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報**その他の略語の全文**

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性 (物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連;

OPTIBENT-1248

製品コード:

版番号 2.0 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/01/12

印刷日 2021/01/12

UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

日付フォーマット : 年/月/日

記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理などを安全に行って頂くために作成されました。記載されている情報はいかなる保証をするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、本 SDS のデータはここで指定された物質についてのみ有効で、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。